

主題	効果いろいろ！口腔ケア		
副題	生命力の礎は口腔ケアから始まります！		
口腔ケア			
研究期間	30ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム さの
看護師	平山 昭子		
共同研究者：介護職 川島 弘和 ・ 保住 恵理 管理栄養士 新井 千代子			
電 話	03-5682-0007	メール	uiland1@wonder.ocn.ne.jp
FAX	03-5682-0077	URL	http://www13.ocn.ne.jp/~sousei6/i

今回発表の 事業所や サービスの 紹介	本施設は、足立区東部の埼玉県八潮市に隣接する地域にあり、平成3年に特養・デイサービスの複合施設として開所した足立区公設民営の第一号施設である。介護保険制度開始後は、法人自主運営施設となり、「ゆうあいらんど・さの」の名称で特養、デイのほか居宅支援事業所、地域包括支援センターを擁する地域の高齢者福祉の拠点として活動している。
------------------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

誤嚥性肺炎を原因とする入院者が増加し、その対策が課題であった。

H21年度年間入院者の全体の70%が誤嚥性肺炎者であり、その原因を探ってみると口腔ケアが不十分な現状があった。

そこで適切な口腔ケアを個人に合わせた計画を立て

- 感染予防
- 口腔機能維持・回復
- 全身の健康維持・回復
- 社会性回復（食事を楽しむ）

を目標設定とした活動をする事に決めた。

また、胃ろう増設者増加傾向もみられたため効果的な口腔ケアの充実により経口摂取移行へも、つながると考えた。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

- ・経口摂取困難者の嚥下改善
- ・誤嚥性肺炎入院者数減少

などを目的として、口腔ケア委員会をたちあげ、歯科医師・歯科衛生士による技術的助言・指導を受けながら多職種が共同して衛生面・機能面を含む総合的支援に取り組んだ。

このことにより、ご利用者の生活の質の改善、心身の状況の悪化防止に繋がれることを期待した。

《3. 具体的な取り組みの内容》

○H22, 4月～口腔ケア委員会を立ち上げ
月1回90分の活動をする。

(口腔ケア委員会構成メンバー)

施設長・介護・看護・相談・栄養士

(委員会活動内容)

歯科衛生士より介護リーダーが指導を受け、
・口腔ケアマニュアル・対策指針作成、
・勉強会・講習会の実施、
・職員向けトトロ通信(口腔ケア情報)発行・自助具の検討

○具体的な取り組み

- ・昼食前健口体操 {トトロ体操オリジナル}
- ・舌下腺マッサージ、アイスマッサージ
- ・毎食後の歯磨き、入れ歯洗浄
- ・食事形態の調整(半固形、ゼリー等)

○作成した個別の帳票類

- ・個別計画表作成
- ・口腔ケアチェック表
- ・カンファレンス一覧表個別作成
- ・歯科衛生士による摂食嚥下機能評価表
- ・口腔機能維持管理加算にかかわる計画書

○購入した備品、消耗品類

- ・歯ブラシ殺菌庫・スポンジ歯ブラシ
- ・ホワイトボード

○口腔機能維持体制加算、維持管理加算取得

《4. 取り組みの結果と考察》

1. 入院数等の減少

誤嚥性肺炎入院数 H21 年度 11 名⇒
H23 年度 4 名

肺炎者数 35 名⇒3 名

2. 具体的事例

・むせ込み、溜め込みが多くなり胃ろうか看
取りかの段階まで来た S.K 様に毎食前アイ
スマッサージ、健口体操の実施及び食事形態
の微調整による栄養改善を図った結果、嚥下
状態が良くなり、食事全量摂取にまでなっ
た。

・口腔アイスマッサージにより 4 人の方が注
射器使用摂取からスプーンで可能となった。

・熱発者減少・嚥下力の向上による食事時間
の短縮等、入退院を繰り返してきたご利用者
様の全身状態が安定し、御家族から評価を頂
いた。

・利用者様は自ら歯磨きや口腔体操を積極的
に行う方が増えて習慣化されるようになった。

《5. まとめ、結論》

日常生活の基本として継続的な口腔ケア
を行うことが嚥下力、食生活の向上につな
がり、ひいては誤嚥性肺炎やインフルエンザ等
の予防に大きな効果をもたらすことがわか
った。

多職種連携により推進すること、継続に実
施することの大切を職員が認識することが
出来、職員の意識改革やチームケアの力も確
認できた。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

- ・利用者の尊厳の保持
- ・写真使用許可確認
- ・事例:利用者家族確認

《7. 参考文献》

口から食べる・嚥下障害

第三版 藤島一郎著 2002 年

《8. 提案と発信》

口腔内が不衛生となる高齢者にはリスクが
多くなる事がよくわかった。

○口腔ケアの充実と継続的な実施は確実に
利用者の摂食嚥下機能の向上につながる。

○誤嚥性肺炎のリスクを減らす

○日々の基本的な口腔ケアの実践には介護職
員の意識改革と歯科衛生士を巻き込んだ、他職
種連携が要となる。

【メモ欄】